

みんなとともに笑顔いっぱい — 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 —



みんなとともに



しかるべきときに改めてお伝えしますが、本校に「自閉症・情緒障害特別支援学級」が新設される見通しとなりました。「子ども一人一人に合った学びの場」が増えることは、本校にとって“大きな財産”です。現在のところは、新1年生は20名、そのうち特別支援学級で学ぶ子が3名です。入学まで2か月を切りました。お子さんの「ウキウキ・ワクワク」をさらに高めていただければありがたいです。



「新入学生保護者説明会」資料

説明会への参加者には、昨年度の「学校だより 第45号」も資料としてお配りしました。そちらには、「本校の『独自の色（アピールポイント）』は何か」と題して、「本校の特色」を載せています。

さて、今回は、「校長のつぶやき」として、新入学生の保護者の皆様へ“徒然なる思い”をつぶやかせていただくことにしました。

【校長のつぶやき】 その106 「市民権を得た？ 午前5校時の“日課表”」

本校の特徴の1つに、給食前に5校時までの授業を行っている点がある。そのために、始業は他校より早い午前8時であるし、休み時間は5分であるし、給食開始は午後0時30分である。個々を見ると、突っ込みどころが満載である。

しかし、この日課表には、“大きな目的”がある。それは、「毎日6校時時代への対応」と「教職員の事務時間の確保」である。詳細は論じないが、1年生にとっても、勉強が午前中で終わるのは、大きなメリットであろう。（「授業参観」は午後になるが、給食を食べると、1年生の集中力は続かないようである。）

そして、下学年のメリットをさらに大きくするために考えたのが、放課後の“自学の場”である「いまここ学習室」である。2年生以上が「帰りの会」の後に、午後3時45分まで勉強に利用することができる。

今年度、6年生が「自分たちがみんなのためにできること」を話し合い、「『いまここ学習室』で勉強を教えること」に決めた。グループをつくり、その日の当番が「いまここ学習室」の場に来てくれている。初めてこの話を聞いたとき、これまで培ってきた取組が「市民権」を得たような気がして、とてもうれしかった。

【校長のつぶやき】 その107 「学校を“自らの成長の場”に」

かの有名な孔子は、「70歳になると、自分がしたいと思うことをやっても、人の道を踏み外すことはなくなった」と言った。あの孔子にして70歳である。私たち凡人は、80歳になっても90歳になっても、「人の道を踏み外す存在」なのではないだろうか。

何が言いたいのかというと、完璧な「校長」はいないし、完璧な「教員」もないし、完璧な「親」もないし、ましてや完璧な「子ども」はいないのである。そのような中で、皆が「もがいている」のが「学校」という場である。その「もがき」の中から「何か」を得て、「学校に集いし人間」は「成長」をし続けている。

お子さんが入学すると、日々の“トラブル”に見舞われる。学校生活は、そんなに甘くはないのである。その中で、子どもたちは「思い通りにいかない出来事があること」「自分とは違う価値観の人間がいること」も学んでいく。そして「他を理解する大切さ」「切磋琢磨する楽しさ」「友と触れ合う喜び」に気づいていく。

「何もないこと」がよいことなのではない。「何かがあること」は“学びのチャンス”である。他を責めても成長にはつながらない。まずは、互いに「自らの成長の機会」とすることが肝要なのではないだろうか。

【校長のつぶやき】 その108 「“PTA活動”を楽しんでもらえたら」

私は「本校のPTAのあり方は、とてもよい」と感じている。本校PTAの特色は、「全員参加型」であることである。全員がどこかの委員会に所属し、そこで保護者同士が親交を深めていく。本校の学校規模に合ったとてもよいシステムである。（コロナ禍で思うように活動ができないところが、つらいところである。）

「PTA」とは「『親』という役割を通して自分を高めることを選んだ人たちの集まり」であると私は考えている。ならば、“同じ道を選んだ者同士”が互いに高めあうことはとても有益なことであろう。「PTA」という場を、自分の成長のため、自分の楽しみのために、大いに利用してほしいと思う。

ただ、「楽しむ」ためには、その“活動内容の見直し”は必須である。「例年やっているから」ではワクワクしない。一度すべてのことをフラットにして、「本当にやりたいこと」を整理してみるのはどうだろう。

「文集すかわ」の作成では、手を挙げた保護者の方に「文章入力」を手伝っていただいた。コロナ感染防止では、手を挙げた保護者の方に「消毒作業」を手伝っていただいた。図書ボランティアとして、読み聞かせをしてくださる方もいる。そのような志を持つ方が、本校には“たくさんいる”のである。ここに1つの“ヒント”があるような気がしている。

新入学保護者の皆様にも、「親だけの特権」を利用して「PTA活動」を楽しんでもらえたら幸いである。